

鳥海ダムだより



2003.2
第3号

国土交通省東北地方整備局鳥海ダム調査事務所



自然にも人にも やさしいダムを

鳥海ダム建設促進期成同盟会副会長

鳥海町長 佐藤 源 一

私は子吉川とその支流の笹子川の合流地点で生まれ育ったことから、私にとって「川」は、まさに日常生活の一部でありました。5、6歳ごろから、父に連れられて川に行き、鮎釣りざおを持たせられ、遊びながら育ったので、近くの川では、どの石に鮎がついているかいまでも分かります。小学校時代は学校が終わると川に行き、カジカ捕りや雑魚（ざっこ）釣り、鮎釣りと、いつも同じ所を流れている川も季節により変わった光景が映し出され、捕れる魚も異なります。一時は、「釣りキチ三平」ならぬ『川三平』といわれたこともあるほど、私にとって川は切っても切れないものがあります。

しかし、これほど親しんできた川も、時には怒り狂ったように大暴れすることもあります。広範囲の大雨による大洪水や、局所的な豪雨による鉄砲水などにより、農地、家屋の流失や道路の寸断、尊い人命が奪われることもあります。

私の中学時代の恩師も鉄砲水で亡くなりました。また、昨年8月には、鮎釣りに訪れていた方が鉄砲水に襲われ、中洲の柳につかまっていたところを県警ヘリ「やまどり」に救助されたほか、矢島町では尊い命が失われました。

「ダムは環境を破壊するから造るべきではない」と言われる方もおりますが、大洪水や事故を防ぎ、流域住民の安心・安全を確保するため、また、飲料水や生活用水、農業用水の安定的な確保のためにも、ダムはなくてはならないものと考えます。

ダム建設となると自然環境の問題はつきもので

すが、鳥海ダム調査事務所の説明によりますと、ロックフィルダム工事には、一般的に大きな岩石山が必要となりますが、鳥海ダムの場合、ダム湖底になる堆積物の中の岩石で、大方がまかなえるということで、周りの自然環境を大きく壊すことはないという話を聞いております。また、人工的なダムだけでなく、ダム上流の森林も自然のダムとして大きな力を発揮してくれるものと期待できます。周りの森林をも大切に、自然にも人間にも優しいダムができるよう願っています。

また、鳥海ダムは、調査事務所の設置当初から「獅子の里・鳥海ダム」のキャッチフレーズで調査が進められています。鳥海町で毎年開催されている「鳥海獅子まつり」では、調査事務所のみなさんにも絶大なご協力をいただいております。15年度の獅子まつりは、社団法人全国郷土芸能協会主催の「第16回全国獅子舞フェスティバル」を、ぜひ鳥海町でとの要請があり、来る8月30日に全国獅子舞フェスティバルを鳥海獅子まつりと共催で行うことになりました。全国に「本海流獅子舞^(*)」と鳥海町をPRする絶好の機会ととらえ、盛会に開催できる準備を進めてまいります。鳥海ダム調査事務所のみなさんの一層のご協力をお願い申し上げますとともに、一日も早い鳥海ダム建設着工を期待しております。

※寛永3年(1626)に本海行人によって伝えられたといわれる獅子舞・番楽を総称して「本海番楽」と呼び、平成8年に「国が記録作成等の措置を講ずべき無形の文化財」として選定されています。本海番楽のうち獅子舞は、「本海流獅子舞」と呼ばれ、町内13の団体で伝承されています。

先例地視察研修

10月21日と22日の2日間、鳥海ダム建設予定地である鳥海町百宅地区の24名の方々、鳥海町建設商工課2名、当所職員3名の計29名で、岩手県大船渡市に建設中の鷹生（たこう）ダムへ先例地視察に行ってきました。この先例地視察は、鳥海ダム建設に伴う移転者の生活再建対策を円滑に進めるために実施しているものです。

第1日目の10月21日は、岩手県大船渡振興局鷹生ダム建設事務所において、同事務所職員の方々、大船渡市職員の方々、鷹生ダム移転者会長に出席していただき、鷹生ダムの概要をはじめ、補償契約までの経緯や移転時の苦労話など貴重な話を聞かせていただきました。

鷹生ダムは岩手県の事業で、平成3年9月に補償基準の調印が行われ、移転世帯数は8世帯、平成10年度に本体着工し、平成19年3月の完成に向けて工事中です。

翌22日には、岩手県湯田町にある湯田ダムを見学しました。湯田ダムは、昭和39年11月に竣工され、現在、東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所湯田ダム管理支所が管理しています。



鳥海町産業文化祭

11月1日から3日の3日間、第17回鳥海町産業文化祭が開催されました。町民会館「紫水館」を主会場に、農産物や特産品、文芸品等の展示、高校生による猿倉番楽をはじめとする各種公演があり、来客者の目を楽しませていました。鳥海ダム調査事務所でも、2日と3日に紫水館内に『鳥海ダムコーナー』を開設し、鳥海ダム完成予想模型の展示、パンフレットの配布、社会資本整備に関するアンケート等を行いました。また、2日には、当所遠藤所長が子吉川トークに参加しました。



鳥海ダム完成予想模型展示



鳥海ダムコーナー



本荘高校吹奏楽部演奏会



子吉川トーク



展示風景



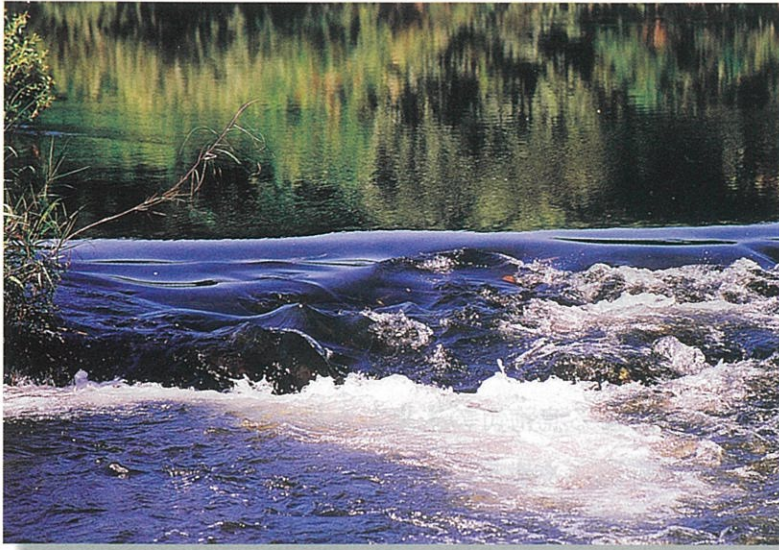
会場風景

第9回子吉川写真コンテスト 受賞作品決定

第9回子吉川写真コンテスト受賞作品が厳正な審査の結果、決定しました。最優秀賞に高橋登さんの『藍』、優秀賞に木内雄之さんの『暖「ぬくもり」』、佐々木亮太郎さんの『夕照の川辺と桜』、初瀬武美さんの『源流の晩秋』の3作品など各賞が、下記のとおり、決まりました。

賞	作品名	氏名
最優秀賞	藍	高橋 登
優秀賞	暖「ぬくもり」	木内 雄之
優秀賞	夕照の川辺と桜	佐々木 亮太郎
優秀賞	源流の晩秋	初瀬 武美
入選	川辺の詩	五十嵐 幸二
入選	寒流	榎本 春雄
入選	アメンボ?	斎藤 久
入選	ゼンマイの里	佐藤 智恵子
入選	初冬の流れ	東海林 静香
入選	愛しむ	藤原 元幸
入選	夏の日の思い出	保田 正
佳作	秋の溪流	五十嵐 幸二
佳作	ひと休み	伊藤 友里江
佳作	冬の彩	今野 清美
佳作	清流の太公望達	佐藤 智恵子
佳作	山と川のある町	須藤 秋男
佳作	僕は太公望	高橋 庄治
佳作	緑映	長谷川 義広
佳作	月川	藤原 元幸
佳作	冬のワカサギ釣り	藤原 陽太郎
佳作	朝もやの子吉川	和田 佳朗
レディース賞	笑顔～寒空の元で	藤原 幸枝
レディース賞	休日	武藤 和子
ヤング賞	木洩れ日	佐々木 あゆみ
ヤング賞	子吉川の秋	長谷川 遼子
特別賞	水害の里	木内 金雄
特別賞	秋晴れ	小杉 キミエ

各賞内で50音順、敬称略



最優秀賞 藍



優秀賞 夕照の川辺と桜



優秀賞 暖「ぬくもり」



優秀賞 源流の晩秋



1月26日に表彰式が行われました

「躍進鳥海の会」に 鳥海ダム計画を説明

1月7日、『躍進鳥海の会』から鳥海ダム計画についての講演依頼があり、当ダムの計画について説明を行いました。この『躍進鳥海の会』は、「希望のもてる鳥海町の未来」を思い集まった20代、30代の青年男女による会です。

当日は、鳥海ダムの必要性等についてスライドを使い説明しました。その後、

- ・なぜ、鳥海町にダムが必要なのか
- ・鳥海ダムの建設予定場所
- ・総事業費及び完成までの期間
- ・調査にかかる期間
- ・ダム建設による鳥海町へのメリット
- ・国直轄のダムと他のダムとの違い

等について、質問、意見が数多く出され活発な討論となりました。



第7回「鳥海ダム懇談会」開催

1月20日、本荘市内において、鳥海ダム懇談会が開催されました。この鳥海ダム懇談会は平成7年7月に設置され、今回で7回目となります。

この懇談会は、地域の発展に貢献するダムづくりを目指し、ダム事業及び地域づくりに対し各種施策の提言を行うことを目的としたもので、各界有識者、子吉川流域の住民代表、行政関係者を懇談会委員とし、鳥海ダムについて広く意見交換を行ってきました。

今回の懇談会では、当所から鳥海ダムの概要、事業経過等を説明し、その後、委員長清水浩志郎秋田大教授の進行のもと、意見交換が行われました。この中で、「調査時の地域の生態系への配慮」や「流域の各自治体の鳥海ダムへの関心」等が話題となりました。



園児から勤労感謝のプレゼント



11月20日、本荘保育園の園児が当所を訪問し、園児から花の鉢植えと手作りのペンダントをいただきました。

贈られた鉢植え、そして手作りペンダントは所長室と事務室に飾られています。

本荘保育園の皆さん、ありがとうございました。

「暮らしを創る子吉川」

12月21日、ABS（秋田放送）において「暮らしを創る子吉川」という番組が放送されました。この番組は本荘市出身で女優の加藤夏希さんがナビゲーター役となり、由利町の汗かき地蔵など子吉川に伝わる民話の紹介や、川と人々のふれあいなどが紹介され、当所が主催したウォーキングスタディン鳥海についても紹介されました。



編集 後記

鳥海ダム建設期成同盟会副会長の佐藤源一鳥海町長に寄稿していただきました。お忙しい中ありがとうございました。

今回は、第9回子吉川写真コンテストの受賞作品、鳥海町産業文化祭等を中心に紹介しました。

はやいもので今年度も残りわずかとなりましたが、なんとか第3号まで発行することができました。とりあえずはほっとしているところです。

今後とも鳥海ダムだよりをよろしくお願いします。

担当 補償調整課

編集・発行

国土交通省東北地方整備局鳥海ダム調査事務所

〒015-0001 秋田県本荘市出戸町字給人町13-4 TEL.0184-23-5120 FAX.0184-23-5451

ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/chokai/>

e-mailアドレス chokai@thr.mlit.go.jp